

図書館たより

号数 第52号
発行日 昭和56年6月25日
編集 島根県立図書館
発行 松江市内中原町52
TEL (0852)22-5725
印刷 渡部印刷株式会社

今年度は図書センター制度が発足して6年目を迎えます。その間、日原町、仁摩町、石見町、佐田町が図書センター制度の期間終了を機に町立図書館としてスタートしました。これで地域における読書振興の充実が一層強化されることでしょう。

今年度は新たに2町に図書センターが誕生しました。そのプロフィールを次に紹介します。

桜江町

設置場所 桜江町コミュニティセンター
担当者 小笠原繁美
貸出期間 14日間
蔵書冊数 2,071冊
図書購入費 50万円
特色

本年4月、社会教育の拠点としての桜江町コミュニティセンターが、役場庁舎、保健センターと同所に併設され、その中には町民の待望久しかった図書室(60m²)があり、55年度に230万円で2,071冊を購入、県立図書館より借受図書3,000冊によって町民図書館としてうぶ声をあげました。

本町は水害常襲地帯で昭和47年災害では町全体が壊滅的被害をうけましたが、復旧工事が強力にすすめられ、災害激じん土地区画整理事業によって、町は生れ変わり、やっと文化の波がおしよせてきた感じの昨今です。このたび町民憲章にも「教養を高め清新な町づくりをしましょう」と定められ、これから住民の図書館活動への参加が期待されています。

4月に開館したばかりですが、現在「古文書を読む会」が発足し、月1回江津市の原竜雄先生の指導で43名が受講しています。また地区配本活動として2小学校へ各250冊ずつ配本しています。

これからは、婦人ボランティアによる親子読書会の普及と読書グループの育成にとりくみないと目下準備計画中です。

なお、図書センター終了時には条例による公立図書館として、専任職員を配置し更に整備充実する計画をたてています。

(文責:桜江町教育委員会)

美都町

設置場所 都茂・東仙道・二川各公民館
担当者 小原静也 他各公民館主事
貸出期間 7日間
蔵書冊数 4,500冊
図書購入費 33万円
特色

美都町には中央公民館はありませんが、3つの独立した公民館があり、各館共専任の公民館主事が常勤しています。そこで、昭和58年度までは都茂公民館をキーステーションにし、各公民館に配本してある図書(各館約1,500冊十県図書1,000冊)を3~4ヶ月に1度交換していきたいと思っています。

昭和58年度には農村環境改善センターの建築が予定されており、その中に約150m²の図書室をもうけ、将来は図書館にする計画です。

読書についていわゆる「開発途上」の美都町ですが「読書は幼児期から」と、町内の保育所へ公民館の職員がダンボール箱に入れた児童図書を毎週火曜日に運んでいます。又、親子読書のお母さんのグループでは図書交換専用の手さげ袋がつくれられ、園児たちにも配されました。

新図書センターの横顔

昭和60年度には図書館設立を目指してスタートした美都町図書センターですが、前途多難で数多くの問題(予算、職員、読書普及活動等)をかかえてはいますが、とにかく各公民館において各地区の読書人口の増加をはかること、子どもから母親へ、1人からグループへとその機会を作ると共に、町当局のより一層の理解が深まるよう進めていきたいと思っています。

(文責:美都町教育委員会)

皆さんに図書館の仕事を一層よくご理解いただくため、当館の様子を紹介することにしました。

図書館の仕事を大きく分けますと、館内奉仕活動と館外奉仕活動の二つになりますが、まず館内奉仕活動をとりあげ、今回は平面図を利用して各ポジションをご覧いただきながら説明します。なお次回からは、更に仕事の内容等について詳しく紹介の予定です。

館内には、本がそれぞれの目的により下図のとおり配置し、県民の皆さんに利用されています。

各部屋には担当の職員が配置され、常時読書についての相談や調査・研究等のお手伝いをしています。また、電話や郵便による相談にも応じています。

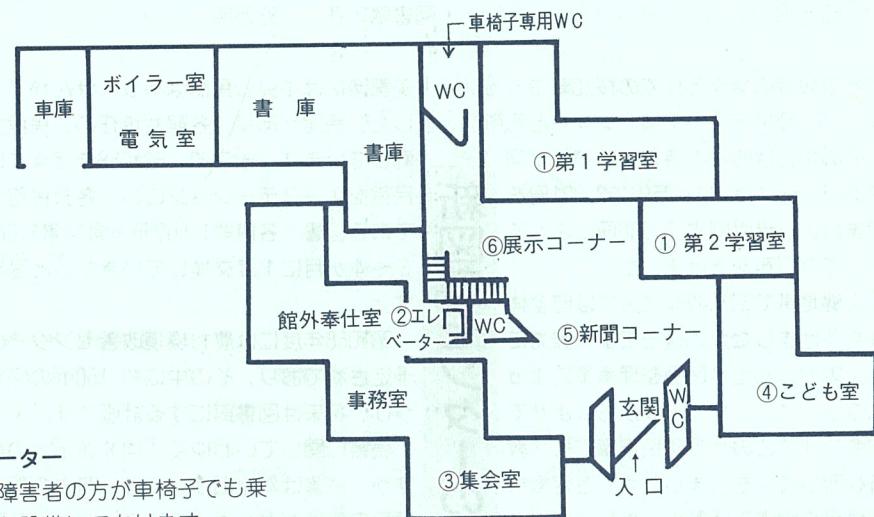


① 学習室

当館の本などを利用し、長時間学習するための部屋です。

④ 子ども室

幼児・小学生を対象に、楽しい絵本や物語、知識の本などがあり、自由に見たり借りることができます。また子どもの読書を考えための本やお母さんのコーナーもあり、この部屋は大人も利用できます。



② エレベーター

身体障害者の方が車椅子でも乗れるよう設備してあります。

③ 集会室

読書にむすびつく各種の講座や行事が行われます。

⑤ 新聞コーナー

毎日の新聞12種を見ることができ、以前のものは中央カウンターで利用できます。

⑥ 展示コーナー

毎月その時々のテーマを設定し、そのテーマにふさわしい本を展示し紹介します。

2階

① 中央カウンター

本の貸出し手続や館内案内、読書相談、目録カード検索案内、コピーサービス等はすべてここで行います。また郵送貸出（県内どこからでも当館の本が利用できるように）事務も行います。

② 海外情報コーナー

世界約80か国の協力を得て、それぞれ自国を紹介する最新の正確な邦文資料を収集し、自由に利用できるようにしています。海外事情調査や旅行の事前調査などに活用できます。

③ 中学生コーナー

特に中学生におすすめする本 約350冊をまとめ配架しています。まだ今年度設置したばかりのため冊数が充分ではありませんが今後増冊の予定です。

④ ブラウジングコーナー

読書や調査研究の疲れをいやすく憩の場です。周囲には最新の雑誌 約500種があり、自由に閲覧でき月おくれは貸出しもできます。

⑤ 目録コーナー

目的の本をさがし出すため、分類・書名・著者名の目録カードがあり、三通りの方法で検索できます。

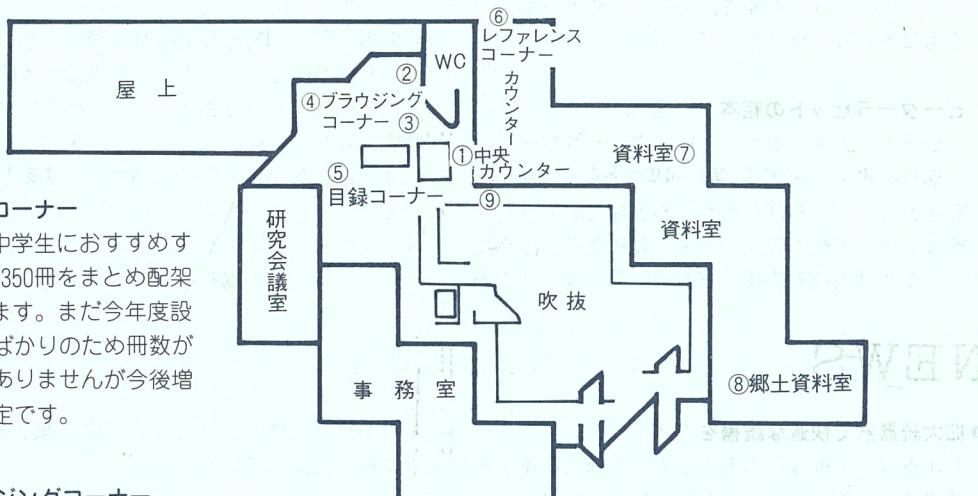
⑥ レファレンスコーナー

調査研究に役立つ百科事典をはじめ各種事典、ハンドブック、図鑑、年鑑、名鑑、白書、法令集、全国電話帳などがあります。

日常の生活や仕事のうえで、知りたいこと調べたいことがありましたら、電話、郵便でも結構です。気軽にご相談ください。必要な情報や資料をさがすお手伝いをします。

⑦ 資料室

中学生以上を対象にした本が分類ごとに室内全体に配置され、それが自由に閲覧でき希望の本は1人3冊まで貸出できます。



⑧ 郷土資料室

島根県のことについて記述された資料は、ここに整備しています。島根県に関する調査や研究はこの部屋をご利用ください。担当職員が必要な資料をさがすお手伝いをします。電話や郵便でのご相談にも応じています。

⑨ 市町村ガイドコーナー

各市町村の行政・産業等各分野にわたる刊行物（広報紙、要覧、施設案内、観光パンフ等）を市町村別に配架しています。県内各地の現況を知る最新の情報コーナーです。

どろぼうがっこう

かこさとし 絵・文

偕成社 780円

どろぼう学校の校長はくまさか・とらえもんという名で、生徒に一生懸命勉強して一番悪いどろぼうに早くなるよう訓示する。「ぬきあし、さしあし、しのびあし……」で一番大きい家にしのびこんだが、そこはなんと刑務所。まぬけな校長先生とまぬけな生徒たちのとんまなどろぼう学校のおはなしに思わずおかしさがこみあげてくる。

おおきくなりすぎたくま

リンド・ワード 絵・文 渡辺茂男訳

福音館書店 900円

谷あいの小さな村に住む少年ジョニーは、赤ん坊のくまをつかまえて家に帰る。成長するにつれ農場や納屋を荒し、手に負えなくなりついには射殺することになった。ジョニーは自分でその役を引受けたが、運よく熊は動物園へ行くことになる。セピア一色の絵は、力強さに満ちて、熊とジョニーの愛情を温かく伝えている。

ピーターラビットの絵本 一全15巻

ピアトリクス・ポター 絵・文 石井桃子訳

福音館書店 各380円(第1~4集) 各400円(第5集)

80年近く、子どもはもちろんおとなにも愛されているミニチュア絵本のシリーズ。動物たちの生き生きとした生活と自然の美しさが丹念なスケッチを基

こどもの本

(6)

にデリケートな水彩で描かれ、空想的な物語の世界を如実に展開している。芸術性ゆたかな絵本の古典ともいわれている。3冊ずつのセットで5集あるがごく単純な話から短篇小説な話まで幅が広い。

たんたのたんけん

中川季枝子作 山脇百合子絵

学習研究社 780円

たんたが5歳になった誕生日の朝、不思議な地図がまいこんだ。探検隊長になったたんたは、矢じりしや△じるしの書いてある地図を持って、帽子屋で探検用の帽子を選んでいると、ひょうの子が現われ一緒に探検することになった。子どもの喜ぶ探検話を、子どもの頭の働きにあった文章や、リズミカルな言葉づかいで描いてるので一層楽しく夢を満たしてくれる。

おにのあかべえ

寺村輝夫作 ヒサクニヒコ絵

ボプラ社 800円

鬼の世界ではおとなになれなかつちびの鬼が人間の村にやってきた。どうさん鬼に「人間の村へ行ったらなんでもさかさまにしろ、そうしたら人間の仲間になれるだろう」と教えられ実行したばかりに馬鹿にされたり、労働させられたりするが、結局は「あかべえ」という名で呼ばれるようになり人間のお嫁さんをもらう。鬼を主人公にしたおもしろい、ユニークな物語で人間社会に対する風刺もきいている。

NEWS

●拡大読書器で快適な読書を!!

お年寄りや弱視などの人のため、二階閲覧室に拡大読書器を設置し一般利用を始めた。これは、テレビカメラと受像機をセットしたもので、読みづらい小さな活字(新聞の縮刷版なども)を画面に拡大して映す仕組みになっており、弱視者や高令で視力の衰えた人たちにも、快適な読書が楽しめる。

また読書器に合わせて、弱視者用の「大活字本」(例えば、遠藤周作の「ぐうたら人間学」、水上勉の「くるま椅子の歌」、森敷の「月山」等)も購入して貸出している。

●好評です!!中学生コーナー

以前からある子ども室と資料室のほかに今年から新たに中学生コーナーを設け、中学生におすすめする図書 約300冊を配架している。特に人気のあるのは、SFベストセラーズ(鶴書房)、ホビーテクニック(日本放送出版協会)、NHKブックスジュニア(日本放送出版協会)等のシリーズで、これらは常時貸出

中である。夏休みまでには更に300~500冊増冊し提供することにしている。

●「子どものつどい」多数の参加者でにぎわう。

5月10日(日)13時30分~15時30分、県立図書館集会室において恒例の「子どもの集い」が開かれた。今回は小学校4・5・6年180名が参加し、小泉八雲に関する話、映画「アンデルセンの世界」等の催しに楽しい一時を過ごした。

人事異動

◎お世話になりました。

次長 稲田 健二(教育庁福利課へ)

管理課長 藤沢 秀晴(島根県立矢上高校へ)

◎よろしくお願いします。

参事 林原 宏(企画部土地対策課から)

主幹 西山 有信(大原郡大東町春穂小学校から)

嘱託 小池美佐子